

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0026

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年11月25日	(月)	8:30	承認	審査	作成				
	作業件名	Eエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	Eエリア			2019/11/5	2019/11/5	2019/11/5				
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2019/10/25	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号				
	F1-ICWBL-95										
No.	保管物名		※カテゴリ			測定場所	表面線量率	β・α	β+γ		
			①	②	③	物 量	測定場所	表面線量率	汚染の有無	線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	B	4 m <sup>3</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2						m <sup>3</sup>				
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
	5						m <sup>3</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	11	—	0153
				2019/11/5
調整後保管日時		2019年11月25日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年11月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所	表面線量率	β+γ	保管場所	保管日時	物 量	再利用	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/11/25 9:00	4 m <sup>3</sup>	減容可		1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ												
モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013803 - 0026

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	11	—	0154
				2019/11/5
調整後保管日時		2019年11月25日		9:30
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年11月25日		(月)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	Eエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	Eエリア								
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/10/25	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-95	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	B	4 m³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2						m³			
	3						m³			
4						m³				
5						m³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

線量測定内容			
測定日	2019年11月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/11/25 9:50	3 m³			1
									m³			
									m³			
									m³			
									m³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。													

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012915 - 0044

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年11月26日		(火)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~4号機 KURION他電気品点検修理工事(H31)							
	発生場所	ヤードタンクエリア					2019/11/8	2019/11/8	2019/11/1
	作業主管G	水処理・滞留水計装グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/10/7	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-130	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
1	ケーブル類			① B 08 ② D ③ B	5 m <sup>2</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
2					m <sup>2</sup>				
3					m <sup>2</sup>				
4					m <sup>2</sup>				
5					m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0190
				2019/11/8
調整後保管日時		2019年11月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年11月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル類①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/11/26 9:30	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012915 - 0044

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年11月28日		(木)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~4号機 KURION他電気品点検修理工事(H31)								
	発生場所	ヤードタンクエリア						2019/11/8	2019/11/8	2019/11/1
	作業主管G	水処理・滞留水計装グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/10/7	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-130		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率
1	ホース類	C	03	D	B	5 m <sup>2</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0191
				2019/11/8
調整後保管日時		2019年11月28日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年11月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-126	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ホース類(→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/11/28 11:00	8 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0043

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年11月25日		(月)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	移送配管フランジ他点検関連									
	発生場所	Kエリア					2019/11/11	2019/11/11	2019/11/11		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/11/8	測定者		測定器名	NaI シンチレータ	管理番号	F1-SG-026			
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	不燃物その他	B	10	D	B	2 m <sup>3</sup>	9 $\mu$ Sv/h	9 $\mu$ Sv/h	無	
	2	塩化ビニール類	B	05	D	B	2 m <sup>3</sup>	9 $\mu$ Sv/h	9 $\mu$ Sv/h	無	
	3	難燃シート類	C	02	D	B	0.5 m <sup>3</sup>	9 $\mu$ Sv/h	9 $\mu$ Sv/h	無	
	4	ゴム類	C	01	D	B	0.5 m <sup>3</sup>	9 $\mu$ Sv/h	9 $\mu$ Sv/h	無	
5						m <sup>3</sup>					
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2019	—	11	—	0215	2019/11/11
調整後保管日時		2019年11月25日		10:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2019年11月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-376
2		ICW	F1-ICW-393
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	不燃物その他 ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h			エリアP1(屋外)	2019/11/25 9:40	2 m <sup>3</sup>			1
2	1	塩化ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/11/25 10:30	0.8 m <sup>3</sup>			2
3	1	難燃シート類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/11/25 10:30	0.01 m <sup>3</sup>			2
4	1	ゴム類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/11/25 10:30	0.01 m <sup>3</sup>			2
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0043

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年11月26日		(火)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	移送配管フランジ他点検関連									
	発生場所	Kエリア				2019/11/11	2019/11/11	2019/11/11			
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/11/8	測定者			測定器名	NaI シンチレーター	管理番号	F1-SC-026		
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		保管物名	①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	2 m <sup>2</sup>	9 μSv/h	9 μSv/h	無	
	2	紙・ウエス類	A	01	W	B	1 m <sup>2</sup>	9 μSv/h	9 μSv/h	無	
	3	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	2 m <sup>2</sup>	9 μSv/h	9 μSv/h	無	
入欄	4					m <sup>2</sup>					
	5					m <sup>2</sup>					
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0216
				2019/11/11
調整後保管日時		2019年11月26日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年11月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/11/26 10:30	2 m <sup>2</sup>			1
	2	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/11/26 10:30	0.7 m <sup>2</sup>			1
	3	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/11/26 10:30	3.1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013213 - 0008						
作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年11月25日		(月)	9:00		承認	審査	作成	固体廃棄物管理G記入欄		受付				
	作業件名	建築水対策工事								受 付 番 号						
	発生場所	1・4号機出入管理所建屋(GI-22)						2019/11/11	2019/11/11	2019/11/11	廃2019	—	11	—	0217	2019/11/11
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員			TEL			調整後保管日時		2019年11月25日	9:00	
	元請会社					担当者			TEL			【保管時の指示事項等】				
線量測定年月日	2019/10/11	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-282							
メ モ	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率					
		①	②	③												
	1	不燃・その他(6m3コンテナFU-00296)	B	10	D	A	4.5 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.08 mSv/h					
	2	不燃・その他(6m3コンテナFU-00157G)	B	10	D	A	4.5 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.07 mSv/h	β 有	0.09 mSv/h					
	3	不燃・その他(6m3コンテナZK-02429)	B	10	D	A	4.5 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.07 mSv/h					
	4	不燃・その他(6m3コンテナZK-02434)	B	10	D	A	4.5 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.06 mSv/h					
5	不燃・その他(6m3コンテナZK-02624)	B	10	D	A	4.5 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.08 mSv/h						
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。																

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1		6m3コンテナ(FU-00296)	5 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアW1	2019/11/25 9:15	6 m <sup>3</sup>		FU-00296	1
2	1		6m3コンテナ(FU-00157G)	5 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアW1	2019/11/25 9:15	6 m <sup>3</sup>		FU-00157G	1
3	1		6m3コンテナ(ZK-02429)	5 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアW1	2019/11/25 9:15	6 m <sup>3</sup>		ZK-02429	1
4	1		6m3コンテナ(ZK-02434)	5 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアW1	2019/11/25 9:15	6 m <sup>3</sup>		ZK-02434	1
5	1		6m3コンテナ(ZK-02624)	5 μSv/h	20 μSv/h	20 μSv/h	エリアW1	2019/11/25 9:15	6 m <sup>3</sup>		ZK-02624	1

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0183

作業主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年11月26日	(火)	10:00	承認	審査	作成				
	作業件名	セシウム吸着装置保守管理委託									
	発生場所	廃スラッジ建屋西側			2019/11/12	2019/11/12	2019/11/11				
	作業主管G	処理設備グループ		監理員	TEL						
	元請会社		担当者	TEL							
	線量測定年月日	2019/9/30	測定者		測定器名	ICW ICWBL	管理番号				
							ICW-106 ICWBL-19				
G 記 入 欄 メモ	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	高線量廃棄物収納コンテナ(ZK-01223)	B	10	D	A	6 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	β有	0.01 mSv/h
	2	高線量廃棄物収納コンテナ(ZK-01382)	B	10	D	A	6 m <sup>3</sup>	0.02 mSv/h	0.003 mSv/h	β有	0.01 mSv/h
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0223
				2019/11/12
調整後保管日時		2019年11月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年11月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管実績 記入欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-01223)	5 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアW1	2019/11/26 10:10	6 m <sup>3</sup>		ZK-01223	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-01362)	5 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアW1	2019/11/26 10:10	6 m <sup>3</sup>		ZK-01362	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年11月25日	(月)	8:00	承認	審査	作成				
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	残Co処理エリア			2019/11/12	2019/11/12	2019/11/12				
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2019/10/10	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 T-ICWBL-04				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				
メモ	10tダンプ(5m3)×1台=5m3 コンクリートガラ搬出いたします。										

受 付 番 号			
廃2019	—	11	— 0227
2019/11/12			
調整後保管日時	2019年11月25日		8:00
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2019年11月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/11/25 8:00	2 m <sup>2</sup>			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/11/25 8:20	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこど。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0228
				2019/11/12
調整後保管日時		2019年11月25日		9:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年11月25日		(月)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	残Go処理エリア					2019/11/12	2019/11/12	2019/11/12	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/10/10	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
メモ	10tダンプ(5m3) × 1台 = 5m3 コンクリートガラ搬出いたします。									

線量測定内容			
測定日	2019年11月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
				5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h								
	1	1	コンクリートガラ ①	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h			エリアC	2019/11/25 8:40	2 m <sup>3</sup>			1
	1	2	コンクリートガラ ①	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h			エリアC	2019/11/25 9:05	2 m <sup>3</sup>			1
	1	3	コンクリートガラ ①	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h			エリアC	2019/11/25 9:20	2 m <sup>3</sup>			1
												m <sup>3</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載														

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013213 - 0008

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年11月25日		(月)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	建築水対策工事									
	発生場所	1・4号機出入管理所建屋(GI-22)						2019/11/12	2019/11/12	2019/11/12	
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/11/7	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-282	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	不燃・その他(6m3コンテナZK-02766)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.08 mSv/h	β有	0.09 mSv/h
	2	不燃・その他(6m3コンテナZK-02767)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β有	0.06 mSv/h
	3	不燃・その他(6m3コンテナZK-02768)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β有	0.07 mSv/h
	4	不燃・その他(6m3コンテナZK-02769)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β有	0.08 mSv/h
	5	不燃・その他(6m3コンテナZK-02778)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β有	0.07 mSv/h
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	-	11	-	0229
				2019/11/12
調整後保管日時		2019年11月25日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年11月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
				μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h						
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02766)	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h	10	μ Sv/h	エリアW1	2019/11/25 10:10	6 m <sup>3</sup>		ZK-02766	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-02767)	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h	10	μ Sv/h	エリアW1	2019/11/25 10:10	6 m <sup>3</sup>		ZK-02767	1
	3	1	6m3コンテナ(ZK-02768)	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h	10	μ Sv/h	エリアW1	2019/11/25 10:10	6 m <sup>3</sup>		ZK-02768	1
	4	1	6m3コンテナ(ZK-02769)	5	μ Sv/h	20	μ Sv/h	20	μ Sv/h	エリアW1	2019/11/25 10:10	6 m <sup>3</sup>		ZK-02769	1
	5	1	6m3コンテナ(ZK-02778)	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h	10	μ Sv/h	エリアW1	2019/11/25 10:10	6 m <sup>3</sup>		ZK-02778	1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	-
				06	-	07	-	08	-	09	-	10	-
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	-	15	-
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	-
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	-	04	-	05	-
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013213 - 0008

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年11月26日	(火)	9:00	承認	審査	作成				
	作業件名	建築水対策工事									
	発生場所	1・4号機出入管理所建屋(GI-22)			2019/11/12	2019/11/12	2019/11/12				
	作業主管G	建築水対策グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2019/11/8	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-ICW-282				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
		①	②	③							
	1	不燃・その他(6m3コンテナZK-02780)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.06 mSv/h	β有	0.1 mSv/h
	2	不燃・その他(6m3コンテナZK-02792)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β有	0.06 mSv/h
	3	不燃・その他(6m3コンテナZK-02803)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.17 mSv/h	β有	0.25 mSv/h
	4	不燃・その他(6m3コンテナZK-02806)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.06 mSv/h	β有	0.08 mSv/h
	5	不燃・その他(6m3コンテナZK-02765)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β有	0.09 mSv/h
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0230
				2019/11/12
調整後保管日時		2019年11月26日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年11月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
				μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h						
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02780)	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	エリアW1	2019/11/26 8:50	6 m <sup>3</sup>		ZK-02780	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-02792)	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h	10	μ Sv/h	エリアW1	2019/11/26 8:50	6 m <sup>3</sup>		ZK-02792	1
	3	1	6m3コンテナ(ZK-02803)	5	μ Sv/h	500	μ Sv/h	500	μ Sv/h	エリアW1	2019/11/26 8:50	6 m <sup>3</sup>		ZK-02803	1
	4	1	6m3コンテナ(ZK-02806)	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h	10	μ Sv/h	エリアW1	2019/11/26 8:50	6 m <sup>3</sup>		ZK-02806	1
	5	1	6m3コンテナ(ZK-02765)	5	μ Sv/h	20	μ Sv/h	20	μ Sv/h	エリアW1	2019/11/26 8:50	6 m <sup>3</sup>		ZK-02765	1
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載														

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013213 - 0008

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年11月26日		(火)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	建築水対策工事									
	発生場所	1・4号機出入管理所建屋(GI-22)					2019/11/12	2019/11/12	2019/11/12		
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/11/8	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-282			
G記入欄	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		保管物名	①	②	③						
	1	不燃・その他(6m3コンテナZK-02770)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.09 mSv/h
	2	不燃・その他(6m3コンテナZK-02779)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.07 mSv/h
	3	不燃・その他(6m3コンテナZK-02784)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.07 mSv/h
	4	不燃・その他(6m3コンテナZK-02793)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.06 mSv/h
	5	不燃・その他(6m3コンテナZK-02804)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.07 mSv/h
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	11	—	0231
				2019/11/12
調整後保管日時		2019年11月26日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年11月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	6m3コンテナ(ZK-02770)	5 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアW1	2019/11/26 9:50	6 m <sup>3</sup>			ZK-02770	1
2	1	6m3コンテナ(ZK-02779)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/11/26 9:50	6 m <sup>3</sup>			ZK-02779	1
3	1	6m3コンテナ(ZK-02784)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/11/26 9:50	6 m <sup>3</sup>			ZK-02784	1
4	1	6m3コンテナ(ZK-02793)	5 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアW1	2019/11/26 9:50	6 m <sup>3</sup>			ZK-02793	1
5	1	6m3コンテナ(ZK-02804)	5 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアW1	2019/11/26 9:50	6 m <sup>3</sup>			ZK-02804	1

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニル類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニル類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0028									
作業主	保管希望日時	2019年11月25日		(月)	8:30		承認	審査	作成										
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事																	
	発生場所	フランジタンク解体部材一時保管施設2テント						2019/11/13	2019/11/13	2019/11/13									
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL										
	元請会社					担当者			TEL										
線量測定	線量測定年月日	2019/10/29		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-115								
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率									
			①	②	③														
			1	6m3コンテナ(2019 NS-00088)	B							02	D	B	6 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.2 mSv/h	β 有	15 mSv/h
			2	6m3コンテナ(2019 NS-00104)	B							02	D	B	6 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.015 mSv/h	β 有	4 mSv/h
3						m <sup>3</sup>													
4						m <sup>3</sup>													
5						m <sup>3</sup>													
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0234
				2019/11/13
調整後保管日時		2019年11月25日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年11月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
2	1	6m3コンテナ(NS-00104)	5 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアW1	2019/11/25 8:55	6 m <sup>3</sup>		NS-00104	1	
								m <sup>3</sup>				
								m <sup>3</sup>				
								m <sup>3</sup>				

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—		
C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年11月26日		(火)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	フランジタンク解体部材一時保管施設2テント				2019/11/13	2019/11/13	2019/11/13			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL					
	元請会社			担当者		TEL					
	線量測定年月日	2019/10/18	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-115			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	6m3コンテナ(2019 NS-00079)	B	02	D	B	6 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	5.5 mSv/h
	2	6m3コンテナ(2019 NS-00107)	C	04	D	B	6 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.7 mSv/h
	3	6m3コンテナ(2019 NS-00013)	C	04	D	B	6 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	1.5 mSv/h
	4						m <sup>3</sup>				
	5						m <sup>3</sup>				
メモ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0235
				2019/11/13
調整後保管日時		2019年11月26日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年11月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(NS-00079)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/11/26 9:05	6 m <sup>3</sup>		NS-00079	1
	2	1	6m3コンテナ(NS-00107)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/11/26 9:05	6 m <sup>3</sup>		NS-00107	1
	3	1	6m3コンテナ(NS-00013)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/11/26 9:05	6 m <sup>3</sup>		NS-00013	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。  
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。



瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票															計上No.		6013107 - 0014																																																																																																																																												
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2019年11月25日				(月)		9:30		承認		審査		作成																																																																																																																																														
	作業件名		構内排水路(B系)拡張工事																																																																																																																																																										
	発生場所		さくら通り										2019/11/13		2019/11/12		2019/11/12																																																																																																																																												
	作業主管G		土木保全・総括グループ				監理員				TEL																																																																																																																																																		
	元請会社						担当者				TEL																																																																																																																																																		
線量測定年月日		2019/11/5		測定者				測定器名		ICWBL		管理番号		T-ICWBL-04																																																																																																																																															
No.		保管物名				※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率																																																																																																																																													
1		コンクリートガラ				B 02 D B		5 m <sup>3</sup>		0.004 mSv/h		0.004 mSv/h		無																																																																																																																																															
2								m <sup>3</sup>																																																																																																																																																					
3								m <sup>3</sup>																																																																																																																																																					
4								m <sup>3</sup>																																																																																																																																																					
5								m <sup>3</sup>																																																																																																																																																					
10tダンプ(5m <sup>3</sup> )×1台																																																																																																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th colspan="2">測定日</th> <th colspan="3">2019年11月25日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="2">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="2">F1-ICWBL-6</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>																	線量測定内容					測定日		2019年11月25日			測定No.	氏名	測定器	管理番号		1		ICWBL	F1-ICWBL-6		2					3					4																																																																																																														
線量測定内容																																																																																																																																																													
測定日		2019年11月25日																																																																																																																																																											
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																																																																																										
1		ICWBL	F1-ICWBL-6																																																																																																																																																										
2																																																																																																																																																													
3																																																																																																																																																													
4																																																																																																																																																													
保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用 減容可		コンテナNo.		測定No.																																																																																																																																								
	1	1	コンクリートガラ①		5 μSv/h		5 μSv/h				エリアC		2019/11/25 9:25		5 m <sup>3</sup>						1																																																																																																																																								
															m <sup>3</sup>																																																																																																																																														
															m <sup>3</sup>																																																																																																																																														
															m <sup>3</sup>																																																																																																																																														
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">※カテゴリ</th> <th colspan="2">①</th> <th colspan="2">A 可燃物</th> <th colspan="2">01 紙・ウエス類</th> <th colspan="2">02 プラスチック・ホリ・ビニール類</th> <th colspan="2">03 木材類</th> <th colspan="2">04 可燃物その他</th> <th colspan="2">05 —</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">06 —</td> <td colspan="2">07 —</td> <td colspan="2">08 —</td> <td colspan="2">09 —</td> <td colspan="2">10 —</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">B 不燃物</td> <td colspan="2">01 金属ガラ</td> <td colspan="2">02 コンクリートガラ</td> <td colspan="2">03 機器類・制御盤類</td> <td colspan="2">04 土砂類</td> <td colspan="2">05 塩化ビニール類</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">06 保温材</td> <td colspan="2">07 石綿含有物</td> <td colspan="2">08 ケーブル類</td> <td colspan="2">09 アスファルトガラ</td> <td colspan="2">10 不燃物その他</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">11 フランジタンク本体</td> <td colspan="2">12 フランジタンク付属品</td> <td colspan="2">13 石綿含有物(はつり屑等)</td> <td colspan="2">14 —</td> <td colspan="2">15 —</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">C 難燃物</td> <td colspan="2">01 ゴム類</td> <td colspan="2">02 難燃シート類</td> <td colspan="2">03 ホース類</td> <td colspan="2">04 難燃物その他</td> <td colspan="2">05 —</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">D 伐採木</td> <td colspan="2">01 伐採木(幹・根)</td> <td colspan="2">02 伐採木(枝・葉)</td> <td colspan="2">03 —</td> <td colspan="2">04 —</td> <td colspan="2">05 —</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②</td> <td colspan="2">状態</td> <td colspan="2">D:乾燥, W:湿気有</td> <td colspan="2">③</td> <td colspan="2">履歴</td> <td colspan="13">A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</td> </tr> </tbody> </table>																							※カテゴリ		①		A 可燃物		01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —								06 —		07 —		08 —		09 —		10 —						B 不燃物		01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類								06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他								11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 石綿含有物(はつり屑等)		14 —		15 —						C 難燃物		01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —						D 伐採木		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —		②		状態		D:乾燥, W:湿気有		③		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」												
※カテゴリ		①		A 可燃物		01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —																																																																																																																																															
						06 —		07 —		08 —		09 —		10 —																																																																																																																																															
				B 不燃物		01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類																																																																																																																																															
						06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他																																																																																																																																															
						11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 石綿含有物(はつり屑等)		14 —		15 —																																																																																																																																															
				C 難燃物		01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —																																																																																																																																															
				D 伐採木		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —																																																																																																																																															
②		状態		D:乾燥, W:湿気有		③		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																																																																			
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。																																																																																																																																																													

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0014

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年11月25日	(月)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	構内排水路(B系)拡張工事								
	発生場所	さくら通り								
	作業主管G	土木保全・総括グループ	監理員	TEL						
	元請会社		担当者	TEL						
	線量測定年月日	2019/11/5	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率	
	1	保管物名	①	②	③					
	2	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.004 mSv/h	0.004 mSv/h	無
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
	5						m <sup>3</sup>			
メモ	10tダンプ(5m3)×1台									

受 付 番 号			
廃2019	—	11	— 0240
2019/11/13			
調整後保管日時	2019年11月25日		11:00
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2019年11月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/11/25 10:00	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率欄に「 $\beta$ ・ $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013206 - 0006

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年11月25日		(月)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	小口工事									
	発生場所	5.6号機FSTR建屋						2019/11/12	2019/11/12	2019/11/12	
	作業主管G	建築保全・総括グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/11/11		測定者			測定器名	サーベーター		管理番号	F1-ICWBL-60
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	A	0.1 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2	機器類・制御盤類	B	03	D	A	0.1 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>					
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2019	—	11	—	0243	2019/11/13
調整後保管日時		2019年11月25日		11:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2019年11月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
				5	μ Sv/h	5	μ Sv/h								
	1	1	金属ガラ①	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアPI(屋外)	2019/11/25 10:20	0.2 m <sup>2</sup>			1
	2	1	機器類・制御盤類②	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアPI(屋外)	2019/11/25 10:20	0.1 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メモ															

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013213 -- 0008		
作業主管理	保管希望日時	2019年11月27日		(水)	9:00		承認	審査	作成			
	作業件名	建築水対策工事										
	発生場所	1-4号機出入管理所建屋(GI-22)						2019/11/13	2019/11/13	2019/11/13		
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
線量測定	線量測定年月日	2019/11/8		測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-282	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
			①	②	③							
	1	不燃・その他(6m3コンテナZK-02596)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.06 mSv/h	
	2	不燃・その他(6m3コンテナZK-02513)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.06 mSv/h	
3	不燃・その他(6m3コンテナZK-02556)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.06 mSv/h		
4	不燃・その他(6m3コンテナZK-02644)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.06 mSv/h		
5	不燃・その他(6m3コンテナZK-02805)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.07 mSv/h	β 有	0.09 mSv/h		
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	--	11	--	0244
				2019/11/13
調整後保管日時		2019年11月27日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年11月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	6m3コンテナ(ZK-02596)	5 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアW1	2019/11/27 9:10	6 m <sup>3</sup>			ZK-02596	1
2	1	6m3コンテナ(ZK-02513)	5 μSv/h	300 μSv/h	300 μSv/h	エリアW1	2019/11/27 9:10	6 m <sup>3</sup>			ZK-02513	1
3	1	6m3コンテナ(ZK-02556)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/11/27 9:10	6 m <sup>3</sup>			ZK-02556	1
4	1	6m3コンテナ(ZK-02644)	5 μSv/h	50 μSv/h	50 μSv/h	エリアW1	2019/11/27 9:10	6 m <sup>3</sup>			ZK-02644	1
5	1	6m3コンテナ(ZK-02805)	5 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアW1	2019/11/27 9:10	6 m <sup>3</sup>			ZK-02805	1

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	--
				06	--	07	--	08	--	09	--	10	--
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	--	15	--
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	--
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	--	04	--	05	--
		D	伐採木										
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ 線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013213 - 0008

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年11月27日	(水)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	建築水対策工事								
	発生場所	1・4号機出入管理所建屋(GI-22)			2019/11/13	2019/11/13	2019/11/13			
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/11/12	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-ICW-282			
※カテゴリ	No.	保管物名				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③						
	1	不燃・その他(6m3コンテナZK-02750)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.2 mSv/h	$\beta$ 有 0.27 mSv/h
	2	不燃・その他(6m3コンテナZK-02751)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.12 mSv/h	$\beta$ 有 0.18 mSv/h
	3	不燃・その他(6m3コンテナZK-02814)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	$\beta$ 有 0.08 mSv/h
	4	不燃・その他(6m3コンテナZK-02815)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.1 mSv/h	$\beta$ 有 0.14 mSv/h
5	不燃・その他(6m3コンテナZK-02817)	B	10	D	A	4 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	$\beta$ 有 0.2 mSv/h	
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

受 付 番 号			
廃2019	—	11	— 0245
2019/11/13			
調整後保管日時	2019年11月27日		10:30
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2019年11月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	6m3コンテナ(ZK-02750)	5 $\mu$ Sv/h	20 $\mu$ Sv/h	20 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/11/27 9:50	6 m <sup>3</sup>			ZK-02750	1
2	1	6m3コンテナ(ZK-02751)	5 $\mu$ Sv/h	20 $\mu$ Sv/h	20 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/11/27 9:50	6 m <sup>3</sup>			ZK-02751	1
3	1	6m3コンテナ(ZK-02814)	5 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/11/27 9:50	6 m <sup>3</sup>			ZK-02814	1
4	1	6m3コンテナ(ZK-02815)	5 $\mu$ Sv/h	60 $\mu$ Sv/h	60 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/11/27 9:50	6 m <sup>3</sup>			ZK-02815	1
5	1	6m3コンテナ(ZK-02817)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/11/27 9:50	6 m <sup>3</sup>			ZK-02817	1

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用ノ減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013705 - 0024		
作業主	保管希望日時	2019年11月25日		(月)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	1F-1~4号機孤立エリア滞留水移送業務委託(2019)										
	発生場所	3号機 タービン建屋						2019/11/13	2019/11/13	2019/11/13		
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員		TEL				
	元請会社					担当者		TEL				
G記入	線量測定年月日	2019/10/10		測定者			測定器名	β・γ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-143	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
		①	②	③								
	1	インシュロック	A	02	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.08	mSv/h
	2	ポリ	A	02	D	B	0.2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.05	mSv/h
入欄	3	紙	A	01	D	B	0.2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.5	mSv/h
	4	可燃物その他(テープ・ラミネート類)	A	04	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.07 mSv/h	β 有	0.55	mSv/h
	5	ゴム	C	01	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.015 mSv/h	無		
メモ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0246
				2019/11/13
調整後保管日時		2019年11月25日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年11月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2		ICW	F1-ICW-393
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
				μ Sv/h		μ Sv/h		μ Sv/h								
入欄	1	1	インシュロック	5	μ Sv/h	20	μ Sv/h	40	μ Sv/h	エリアW1	2019/11/25 10:30	0.01	m <sup>2</sup>		ZK-02678	1
	2	1	ポリ	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	30	μ Sv/h	エリアW1	2019/11/25 10:30	0.03	m <sup>2</sup>		ZK-02678	1
	3	1	紙	5	μ Sv/h	30	μ Sv/h	50	μ Sv/h	エリアW1	2019/11/25 10:30	0.02	m <sup>2</sup>		ZK-02678	1
	4	1	可燃物その他(テープ・ラミネート類)	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h	40	μ Sv/h	エリアW1	2019/11/25 10:30	0.01	m <sup>2</sup>		ZK-02678	1
	5	1	ゴム	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/11/25 10:20	0.01	m <sup>2</sup>			2
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																
メモ																

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
②	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
			01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
③	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
			01	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

## 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①		②										③
	6	ゴムホース	C	03	D	B	0.1	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.02	mSv/h	$\beta$ 有	0.04	mSv/h
	7	ケーブル被覆	C	04	D	B	0.1	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.015	mSv/h	$\beta$ 有	0.02	mSv/h
	8						m <sup>2</sup>								
	9						m <sup>2</sup>								
	10						m <sup>2</sup>								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	11	—	0246

[illegible]

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —		
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —		
		B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類		
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 石綿含有物(はつり屑等)		14 —		15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —		
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —		
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0024

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年11月26日	(火)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F-1~4号機孤立エリア滞留水移送業務委託(2019)								
	発生場所	3号機 タービン建屋			2019/11/13	2019/11/13	2019/11/13			
	作業主管G	地下水対策グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/10/10	測定者		測定器名	β・γ用電離箱	管理番号			
							F1-ICWBL-143			
※ モ	No.	※カテゴリ				測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		保管物名	①	②	③	物 量				
	1	皮手袋	A	04	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.04 mSv/h	β有 0.2 mSv/h
	2	被覆番線	B	01	D	B	0.2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3	ケーブル類	B	08	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.015 mSv/h	無
	4									
5										
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

受 付 番 号			
廃2019	—	11	— 0247
			2019/11/13
調整後保管日時		2019年11月26日	
		11:00	
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2019年11月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	皮手袋	5 μSv/h	30 μSv/h	90 μSv/h	エリアW1	2019/11/26 10:50	0.05 m <sup>2</sup>		ZK-02678	1
	2	1	被覆番線 ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/11/26 10:50	0.1 m <sup>2</sup>			1
	3	1	ケーブル類 ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/11/26 10:50	0.1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※  
モ No.1の物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=30 μSv/h, β+γ線量率=30 μSv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010303 - 0027

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年11月26日	(火)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	立入制限区域柵周辺フェーシング工事(Ⅲ期)							
	発生場所	1-2号機開閉所、汐見坂付近 GK-19、22			2019/11/13	2019/11/13	2019/11/13		
	作業主管G	防護管理グループ		監理員	TEL				
	元請会社			担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/11/5	測定者		測定器名	ICW	管理番号		
						F1-ICW-120			
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率
		①	②	③					
1	金属ガラ	B	01	D	B	5 m <sup>2</sup>	1.5 μSv/h	1.5 μSv/h	無
2						m <sup>2</sup>			
3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0251
				2019/11/13
調整後保管日時		2019年11月26日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年11月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-376	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/11/26 8:10	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥 W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年11月25日	(月)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	G6エリア								
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/11/12	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 T-ICWBL-04			
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

受 付 番 号			
廃2019	—	11	— 0252
2019/11/13			
調整後保管日時	2019年11月25日		8:00
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2019年11月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアP1(屋外)	2019/11/25 8:10	2 m <sup>2</sup>			1
1	2	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアP1(屋外)	2019/11/25 8:50	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年11月25日	(月)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	G6エリア								
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
線量測定年月日	2019/11/12	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ - $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0253
				2019/11/13
調整後保管日時		2019年11月25日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年11月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2019/11/25 9:30	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ欄	
-----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ + $\gamma$  線量率欄に「 $\beta$ + $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta$ + $\gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年11月27日		(水)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア								
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/11/12	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14		
G記入欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	W	B	5 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>				
メモ	自社運搬									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0254
				2019/11/13
調整後保管日時		2019年11月27日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年11月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/11/27 8:05	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0028		
作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年11月28日		(木)	8:00		承認	審査	作成			
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事										
	発生場所	G4南エリア					2019/11/13	2019/11/13	2019/11/13			
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員			TEL				
	元請会社				担当者			TEL				
	線量測定年月日	2019/11/12	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-KWBL-139		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリートガラ			B 02 D B	5 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無			
	2					m <sup>3</sup>						
	3					m <sup>3</sup>						
4					m <sup>3</sup>							
5					m <sup>3</sup>							
注: 10tダンプ車にて持参します。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0256
				2019/11/13
調整後保管日時		2019年11月28日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年11月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	コンクリートガラ ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/11/28 8:05	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年11月28日		(木)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア						2019/11/13	2019/11/13	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/11/12	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: 10tダンプ車にて持参します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0257
				2019/11/13
調整後保管日時		2019年11月28日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年11月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/11/28 8:30	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態		D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴		
						A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年11月28日		(木)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア					2019/11/13	2019/11/13		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/11/12	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-139		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無		
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: 10tダンプ車にて持参します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0258
				2019/11/13
調整後保管日時		2019年11月28日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年11月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-KWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/11/28 9:00	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ欄												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8013803 - 0028

作業 主 管 欄	保管希望日時	2019年11月28日		(木)	11:00	承認	審査	作成	
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	G4南エリア					2019/11/13	2019/11/13	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
G 記 入 欄	線量測定年月日	2019/11/12	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-139	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h
	2						m <sup>3</sup>		
メ モ	注: 10tダンプ車にて持参します。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0259
				2019/11/13
調整後保管日時		2019年11月28日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年11月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/11/28 10:00	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年11月29日	(金)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア			2019/11/13	2019/11/13	2019/11/13			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/11/12	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-139		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: 10tダンプ車にて持参します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0260
				2019/11/13
調整後保管日時		2019年11月29日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年11月29日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/11/29 8:45	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥 W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0028	
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2019年11月29日		(金)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名		G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所		G4南エリア					2019/11/13	2019/11/13	2019/11/13	
	作業主管G		貯留設備土木グループ			監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日		2019/11/12		測定者			測定器名	ICWBL	管理番号 F1-KWBL-139	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2						m <sup>3</sup>				
	3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>					
5						m <sup>3</sup>					
注: 10tダンプ車にて持参します。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0261
				2019/11/13
調整後保管日時		2019年11月29日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年11月29日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/11/29 8:50	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2019年11月29日	(金)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア			2019/11/13	2019/11/13	2019/11/13			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員						
	元請会社			担当者						
	線量測定年月日	2019/11/12	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-139		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
2						m³				
3						m³				
4						m³				
5						m³				
注: 10tダンプ車で持参します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0262
				2019/11/13
調整後保管日時		2019年11月29日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年11月29日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/11/29 9:20	5 m³			1
									m³			
									m³			
									m³			
									m³			
									m³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0028					
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年11月29日		(金)	11:00		承認	審査	作成						
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事													
	発生場所	G4南エリア						2019/11/13	2019/11/13	2019/11/13					
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL						
	元請会社					担当者			TEL						
	線量測定年月日	2019/11/12	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-KWBL-139					
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5	m <sup>3</sup>	0.001	mSv/h	0.001	mSv/h	無		
	2							m <sup>3</sup>							
3							m <sup>3</sup>								
4							m <sup>3</sup>								
5							m <sup>3</sup>								
注: 10tダンプ車にて持参します。															

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0263
				2019/11/13
調整後保管日時		2019年11月29日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容									
測定日	2019年11月29日								
測定No.	氏名	測定器	管理番号						
1		ICWBL	F1-ICWBL-6						
2									
3									
4									

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
										m <sup>3</sup>		
										m <sup>3</sup>		
										m <sup>3</sup>		
										m <sup>3</sup>		

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
			06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
	B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0023

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年11月25日	(月)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F1～6号機シールド収納倉庫内機械修理工事								
	発生場所	1号機 タービン建屋 2FL			2019/11/13	2019/11/13	2019/11/13			
	作業主管G	地下水対策グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
線量測定年月日	2019/11/11	測定者			測定器名	β・γ用電離箱	管理番号	F1-ICWBL-143		
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
	① ② ③									
	1	ゴム	C	01	D	A	0.1 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
	2	難燃シート	C	02	D	A	0.1 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
	3	ポリ	A	02	D	A	0.1 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
	4	紙	A	01	D	A	0.1 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
5						m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0264
				2019/11/13
調整後保管日時		2019年11月25日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年11月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	2	1	難燃シート	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/11/25 10:20	0.01 m <sup>2</sup>			1
	3	1	ポリ	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/11/25 10:20	0.01 m <sup>2</sup>			1
	4	1	紙	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/11/25 10:20	0.1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	②	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0023

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年11月26日		(火)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1F1～6号機シールド収納倉庫内機械修理工事									
	発生場所	1号機 タービン建屋 2FL						2019/11/13	2019/11/13	2019/11/13	
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/11/11	測定者			測定器名	β・γ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-143	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	バッテリー	B	10	D	A	0.2 m <sup>2</sup>	0.05 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	2	金属ガラ	B	01	D	A	0.1 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	3	吸着剤	B	10	D	A	0.1 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0265
				2019/11/13
調整後保管日時		2019年11月26日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年11月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	バッテリー⑥	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/11/26 10:40	0.1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/11/26 10:40	0.05 m <sup>2</sup>			1
	3	1	吸着剤②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/11/26 10:40	0.05 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012320 - 0002

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年11月27日		(水)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F使用済保護衣等分別・減容・保管業務委託								
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫					2019/11/13	2019/11/13	2019/11/8	
	作業主管G	固体廃棄物管理グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/11/7	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-154		
G記入欄	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	金属がら(不良コンテナ)	B	01	D	B	12 m <sup>3</sup>	10 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>				
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0267
				2019/11/13
調整後保管日時		2019年11月27日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年11月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-376
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属がら(不良コンテナ) ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2019/11/27 9:40	12 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥 W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・ B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013708 - 0066

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年11月27日		(水)	10:30	承認	審査	作成												
	作業件名	Sr処理水配管止水工事関連																		
	発生場所	H8タンクエリア					2019/11/14	2019/11/14	2019/11/13											
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL													
	元請会社				担当者		TEL													
	線量測定年月日	2019/10/29	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-130												
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
		①	②	③																
		1	保温材	B						06	D	A	5	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
		2																		
		3																		
		4																		
5																				

受 付 番 号				2019/11/14
廃2019	—	11	—	
調整後保管日時		2019年11月27日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年11月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/11/27 10:05	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0066

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年11月27日	(水)	11:00	承認	審査	作成				
	作業件名	Sr処理水配管止水工事関連									
	発生場所	H8タンクエリア			2019/11/14	2019/11/14	2019/11/13				
	作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL						
	元請会社		担当者		TEL						
	線量測定年月日	2019/10/29	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-130				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	保温材	B	06	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0269
				2019/11/14
調整後保管日時		2019年11月27日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年11月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/11/27 10:40	3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥 W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄

受付

受 付 番 号

廃2019 - 11 - 0270

2019/11/14

調整後保管日時 2019年11月27日 11:00

【保管時の指示事項等】

線量測定内容

2019年11月27日

測定No. 氏名 測定器 管理番号

1 ICWBL F1-ICWBL-6

2

3

4

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年11月27日		(水)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	セシウム吸着塔保管管理									
	発生場所	一時保管施設(第四施設)(GP-22)									
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/10/18	測定者			測定器名	①F1ICW②F1ICWBL		管理番号	①406 ②19	
G 記 入 欄	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③							
	1	金属ガラ	B 01	D	B	1.5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
	2	土砂類	B 04	D	B	2 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.025 mSv/h	β有	0.025 mSv/h	
	3	機器類・制御盤類	B 03	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
	4	ケーブル類	B 08	D	B	0.2 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
5	不燃物その他	B 10	D	B	0.8 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無			
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 処理方法: 持ち込み 日時: 2019年11月25日 10:00										

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/11/27 10:15	1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	土砂類	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2019/11/27 10:15	1.5 m <sup>2</sup>		FU-00189G	1
	3	1	機器類・制御盤類②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/11/27 10:15	0.5 m <sup>2</sup>			1
	4	1	ケーブル類①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/11/27 10:15	0.01 m <sup>2</sup>			1
	5	1	不燃物その他②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/11/27 10:15	1 m <sup>2</sup>			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ	No.2の物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=10 μSv/h, β+γ線量率=10 μSv/h											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013606 - 0004

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年11月28日		(木)	11:00	承認	審査	作成	
	作業件名	1~4号機 多核種除去設備運転・保守管理業務委託							
	発生場所	多核種除去設備(GQ-20 西側)					2019/11/14	2019/11/14	2019/11/14
	作業主管G	水処理計画グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/11/12	測定者		測定器名	ICW、ICWBL	管理番号	108-55	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ - $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ + $\gamma$ 線量率
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D B	5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.7 mSv/h	$\beta$ 有	0.7 mSv/h
	2				m <sup>2</sup>				
	3				m <sup>2</sup>				
4				m <sup>2</sup>					
5				m <sup>2</sup>					

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0271
				2019/11/14
調整後保管日時		2019年11月28日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年11月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	5 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	800 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/11/28 10:20	2 m <sup>2</sup>		ZK-02678	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7  $\mu$ Sv/h, 表面線量率=40  $\mu$ Sv/h,  $\beta$ + $\gamma$ 線量率=40  $\mu$ Sv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ + $\gamma$ 線量率欄に「 $\beta$ + $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta$ + $\gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012321 - 0008		
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2019年11月29日		(金)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名		1F フランジタンク除染・保管委託									
	発生場所		大型機器点検建屋					2019/11/14	2019/11/14	2019/11/14		
	作業主管G		廃棄物計画グループ			監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日		2019/11/13		測定者			測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-67		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
	1	可燃物その他		A	04	D	A	0.5 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	紙・ウエス類		A	01	D	A	0.5 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	プラスチック・ポリ・ビニール類		A	02	D	A	0.5 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4							m <sup>3</sup>					
5							m <sup>3</sup>					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0272
				2019/11/14
調整後保管日時		2019年11月29日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年11月29日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
	1	1	可燃物その他	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/11/29 11:00	0.2 m <sup>3</sup>			1
	2	1	紙・ウエス類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/11/29 11:00	0.6 m <sup>3</sup>			1
	3	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/11/29 11:00	0.6 m <sup>3</sup>			1
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012321 - 0008

作業 主 管 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年11月29日		(金)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F フランジタンク除染・保管委託								
	発生場所	大型機器点検建屋					2019/11/14	2019/11/14		
	作業主管G	廃棄物計画グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/11/13	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-67		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無		
	1	不燃物その他	B	10	D	A	2 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.05 mSv/h	$\beta$ 有
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

注:  $\alpha$  有、 $\beta$   $\alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0273
				2019/11/14
調整後保管日時		2019年11月29日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年11月29日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他	5 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	10 mSv/h	エリアW1	2019/11/29 11:00	2 m <sup>2</sup>		FU-00189G	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7  $\mu$  Sv/h, 表面線量率=50  $\mu$  Sv/h,  $\beta$  +  $\gamma$  線量率=50  $\mu$  Sv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$  +  $\gamma$  線量率欄に「 $\beta$  +  $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta$  +  $\gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0025

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年11月26日		(火)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	Cエリアタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	Cタンクエリア					2019/11/14	2019/11/14	2019/11/14		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/11/14	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-130		
測定内容	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	金属ガラ(2019FU00182G)	B	01	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	1 mSv/h
	2	金属ガラ(2019FU00143)	B	01	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	1 mSv/h
	3	木材類(2019FU00144)	A	03	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.3 mSv/h	β 有	1 mSv/h
	4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>					
メモ	No. 1,2,3は借用6m3コンテナで廃棄、本管理表コンテナ3台分の申請。 外面 No1 0.01mSv/h No2 0.01mSv/h No3 0.2mSv/h										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0281
				2019/11/15
調整後保管日時		2019年11月26日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年11月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(FU-00182G)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/11/26 9:00	6 m <sup>2</sup>		FU-00182G	1
	2	1	6m3コンテナ(FU-00143)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/11/26 9:00	6 m <sup>2</sup>		FU-00143	1
	3	1	6m3コンテナ(FU-00144)	5 μSv/h	150 μSv/h	150 μSv/h	エリアW1	2019/11/26 9:00	6 m <sup>2</sup>		FU-00144	1
									m <sup>2</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013708 - 0104		
作業主管理	保管希望日時	2019年11月28日		(木)	10:30		承認	審査	作成			
	作業件名	G4北エリアタンクリプレイス関連工事										
	発生場所	G4北タンクエリア					2019/11/14	2019/11/14	2019/11/14			
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL				
	元請会社				担当者			TEL				
線量測定	線量測定年月日	2019/11/14		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-21	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
		①	②	③								
	1	金属ガラ	B 01	D A	4 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h		無			
	2	不燃物その他	B 10	D A	3 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h		無			
記入欄	3				m <sup>3</sup>							
	4				m <sup>3</sup>							
	5				m <sup>3</sup>							
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0282
				2019/11/15
調整後保管日時		2019年11月28日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容											
測定日	2019年11月28日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICWBL	F1-ICWBL-6								
2											
3											
4											

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
メ モ	1	1	金属ガラ①	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアP1(屋外)	2019/11/28 10:30	3 m <sup>3</sup>			1
	2	1	不燃物その他②	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアP1(屋外)	2019/11/28 10:30	0.5 m <sup>3</sup>			1
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。



瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0028		
作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年11月28日		(木)	8:30		承認	審査	作成			
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事										
	発生場所	フランジタンク解体部材一時保管施設2テント						2019/11/15	2019/11/15	2019/11/15		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2019/10/17	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-115		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	6m3コンテナ(2019 NS-00109)	C	04	D	B	6 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.008 mSv/h	β 有	40 mSv/h	
	2	6m3コンテナ(2019 NS-00021)	C	04	D	B	6 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.17 mSv/h	
	3	6m3コンテナ(2019 NS-00062)	B	02	D	B	6 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.04 mSv/h	β 有	20 mSv/h	
4						m <sup>3</sup>						
5						m <sup>3</sup>						
注: α有、β・α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0285
				2019/11/15
調整後保管日時		2019年11月28日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年11月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
				5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h						
1	1	6m3コンテナ(NS-00109)	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	エリアW1	2019/11/28 8:50	6 m <sup>3</sup>		NS-00109	1	
2	1	6m3コンテナ(NS-00021)	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	エリアW1	2019/11/28 8:50	6 m <sup>3</sup>		NS-00021	1	
3	1	6m3コンテナ(NS-00062)	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	エリアW1	2019/11/28 8:50	6 m <sup>3</sup>		NS-00062	1	
											m <sup>3</sup>				
											m <sup>3</sup>				

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0026

作業 主 管 欄	保管希望日時	2019年11月28日	(木)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	Eエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事						
	発生場所	フランジタンク解体部材一時保管施設2テント			2019/11/15	2019/11/15	2019/11/15	
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL			
	元請会社			担当者	TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2019/10/29	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	
							F1-ICWBL-115	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	
		①	②	③			$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	6m3コンテナ(2019 NS-00067)	B	02	D	B	6 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h
メ モ	2	6m3コンテナ(2019 NS-00075)	B	02	D	B	6 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h
	3					m <sup>3</sup>		
	4					m <sup>3</sup>		
	5					m <sup>3</sup>		
	注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	11	—	0286
				2019/11/15
調整後保管日時		2019年11月28日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年11月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(NS-00067)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/11/28 9:20	6 m <sup>3</sup>		NS-00067	1
	2	1	6m3コンテナ(NS-00075)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/11/28 9:20	6 m <sup>3</sup>		NS-00075	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	D	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。